

麻生多摩美の森だより

麻生区市民健康の森 一麻生鳥のさえずり公園一

第 42 号 2014 年 9 月 30 日発行 発行：麻生多摩美の森の会

発行責任者；間野 洋 編集者；木村 信夫

森の豊かさを楽しむイベント案内…秋から冬の行事 副会長 中谷 一郎

今年の夏も地球温暖化や異常気象の影響か、台風 11 号とその後の豪雨により広島を初め日本中で多大な被害が出ました。麻生多摩美の森でも樹木が倒れ、多摩美公園でも桜の大木が倒れましたが、広場の栗は無事収穫となり、畑の里芋は順調に生育しています。

本紙 41 号の冒頭で紹介されていますが、7 月 1 日、川崎市制 90 周年記念式典において功労賞、「市民生活を支援する継続的な活動」で表彰され（緑に関する団体は 5 団体）、間野会長が出席しました。

この継続性を大切に、秋から冬にかけて以下のような盛り沢山な行事に取り組んでいきたいと思えます。

1. 多摩美プレーパークの会への協力

10 月 18 日（土）、12 月 20 日（土）、子供たちが森で自由に伸び伸びと遊ぶ。

2. 西生田小学校 5 年生「森で環境学習」

10 月 15 日（水）、16 日（木）各日午前中、サポート各日 10 人程度の予定。

<学習内容>

①暮らしに役立つ植物たち 里山の草木がどれほど私たちの生活に活かされているかを、自然観察指導員の高橋英さん、佐藤登喜子さんおよび会員のガイドで巡回して学びます。

②樹木の二酸化炭素吸着量の測定 森・緑が環境の改善にどのように役立っているかを、樹木の幹回りを測定し、その値か

ら算出することを通じて学習します。

3. あさお里山こどもクラブ（里山フォーラム in 麻生）

10 月 26 日（日）「木の実・草の実 不思議だね」、11 月 30 日（日）「冬の里山で五感を使う」への協力。

4. 第 14 回植樹祭&収穫祭

11 月 16 日（日）。今年度は当会と多摩美みどりの会および川崎・多摩美の山トラストの会の 3 団体共催で実施します。

テーマは「森にひびけ みんなの元気」。行事内容は、記念植樹に続き、ケン玉遊び、地元の子供たちの多摩美太鼓、会員のアルプホルン演奏、そして畑で採れた里芋の豚汁・茹で芋、フランクフルトソーセージづくり、マシュマロ焼きなどで、世代を結んで元気に交流し楽しみます。

5. 西生田小学校 3 年生「秋の森の観察会」

11 月 19 日（水）予定。
森を知ろう・種の旅立ち・ビンゴゲーム。

6. 「花と緑の交流会」 於多摩市民館

11 月 30 日（日） パネル展示出展。

7. カリタス女子中学生 緑地保全ボランティアへの協力 川崎市公園緑地協会主催

12 月 17 日（水）150 人参加予定。麻生区市民健康の森と多摩美ふれあいの森周辺。

8. 西生田小 3 年生「冬の森の観察会」

2 月 19 日（木） 樹木の冬芽の観察。

以上、皆さんぜひご参加ください。

追悼 渡辺昭治さん 大瀧恒夫さん

渡辺昭治さんを偲んで 小座間 清次郎

多摩美みどりの会、麻生多摩美の森の会の設立時からの会員の渡辺さんは、最新の医療技術による治療も叶わず、去る5月29日天国へ旅立たれました。享年82歳。思い残すことは沢山あったことでしょう。昨年7月、一緒に通っていた体操教室の帰途、多摩美盆踊り大会でのみどりの会の出店について、「今年も野菜販売の金勘定だね」と楽しみに話した翌朝、救急車で病院へ。後日、見舞いに行くとりハビリ中で、1、2ヶ月で社会復帰できそうとのことだったのに、病状は変わらず、帰宅することはありませんでした。

温厚で、静かな言葉づかいと表情で気持ちを伝える誠実な方でした。森の会では数年会計幹事を務め、森の家の管理も担当され、みどりの会では、物品の運搬やイベントの講師の送迎を快く引き受けてくれました。食通で、おいしい物を聞けば、他県まで料理教室に通ったことはあまり知られていません。

男子サッカーユース日本代表のお孫さんの応援に寸暇を惜しまず出かけ、女子中学柔道全国大会出場のお孫さんについても将来を楽しみにしておられました。ご家族に看取られ、「ありがとう」と口元が動いた、安らかな最期だったとの奥さんのお話です。合掌

◇映画カメラマン渡辺昭治さん 木村 信夫

昭治さんの写真は、被写体が浮き立ついっぽう全体の雰囲気伝わってきます。元々16ミリ映画カメラマンのためか、良く歩き回り膝を屈伸させて最適アングルを探しているからようで、私も膝を使うことにしました。

私が16ミリ用レンズをデジカメに着けてマクロ撮影していると話すと、昔使われていたレンズを譲って下さいました。仏国のアンジェニュー75mmと英国のテイラー・ホブソン105mm。長期保管中に出たカビをオーバーホールし、森の草花の撮影に欠かせないとても有難い2本となっています。感謝を込めて。

大瀧恒夫さんのご逝去を悼んで 間野 洋

会員の大瀧恒夫さんがこの7月逝去されました。麻生区市民健康の森は、川崎市の「市民健康の森構想」の発表以来、その整備構想検討委員会、推進委員会を経て、平成13年に「麻生区市民健康の森を育てる準備会」が発足しました。それ以前から多摩美みどりの会で活動されていた大瀧さんは、準備会スタート時点から参画されました。最後の2年間の闘病生活を除くと、約12年間、当会の活動に寄与され、途中入会の私にとっても大先輩でした。

当会の活動においては、竹炭焼きのリーダーであり、失敗が多かった作業に温度管理を取り入れて、素晴らしい竹炭が作れました。また、里芋の種芋保存用に、孟宗竹を利用して頑丈な土室を作られたことなどが印象に残っています。

個人的にも親しくさせていただきました。大瀧さんは油絵、写真撮影、登山等の趣味の人で、絵画については同好の志が会員に3名おり、N氏出展の展覧会に行き、帰りの飲み会が楽しみでした。また、尾瀬、高尾山、鎌倉アルプス、丹沢等の登山に同行させてもらい、山で大瀧さん特製のコーヒーをいただくのが楽しみでした。

人柄も寡黙で温厚、誰にでも平等に接する方でした。もう少し長くご厚誼いただきたい方でした。ここに改めて心からご冥福をお祈りします。

◇宝物のマグカップ 中谷 一郎

大瀧さんとの10年来の思い出は語り尽せないほどで、植樹祭&収穫祭でのバームクーヘン作り、竹炭作りなど多々ありますが、その中でも何回もの山歩きが心に残ります。

大瀧さん、間野さんと何時もなぜか3人でした。ある山行のとき、大瀧先輩が3個のラアケン(LAKEN)製、山では欠かせないアルミの軽いマグカップを取り出し、小生たちにプレゼントしてくれました、それ以来どこに行くにもお供で、山頂で美味しいコーヒー、お酒にと愛用していました、現在でも小生の宝物として大事に使用しています。 献杯

●西生田小3年生 春・夏の森の観察会の報告

副会長 中谷 一郎

西生田学校小3年生の体験学習は、多摩美の森の季節の変化を肌で知ってもらうため、春、夏、秋、冬の4回実施しています。そのうち、春と夏の観察会が終わりました。

◆春は5月28日(水)午前9時から約1時間30分。児童134名全員で森の中を自分で自由に観察し、学校で学習したものが森で見られるか、観察ノートに絵と文章を熱心に書き入れました。春の木の葉の色は？ 菜の花やのらぼうの花は？ ハルジオンとヒメジョオンの違いは？ どんな虫や昆虫がいるか？ など。ダンゴムシやバッタをすぐに見つけ、分からないことを高橋英講師や会員に熱心に質問していました(写真)。



◆夏は8月27日(水)が雨のため、28日(木)に実施し、どんよりした天気でしたが無事完了。夏の多摩美の森は春と比べてどう変わっているか？ ドングリはあったか、その色は？ 里芋畑を見たか、葉っぱはどんな形か？ どんな虫や生き物がいるか？ とくに今回は、藤棚下のテーブルにセミの成虫、脱け殻の写真と実物を置き、比較しながらオスとメスの見分け方を観察しました。また、子供たちは多くの種類のバッタを見つけて質問してきましたが、当方は分からず勉強不足を痛感しました。

森の会の人たちはどんなことをしているのか、熱心に質問しノートに書いていました。今年も学校で壁新聞にまとめて発表するかも知れません。

■雲間から星が見えた 一夏の星空を楽しむつどい オーロラ天文台 小川 誠治

8月2日(土)川崎市麻生区健康の森で行われたオーロラ天文台・渋谷星の会主催の「夏の星空を楽しむつどい」は、ムシムシする猛暑の中、約50名の市民の皆様が春や夏の星座を堪能していただきました。暗くなり始めてから人が詰めかけてきて、親子連れや、大人お一人での参加の方もいらっしゃいました。中には開始30分以上も前からお待ちになっていた、百合ヶ丘や中野島から見えた方もおられてビックリでした。

イベントが始まる前に、月が雲の間から見えていたので、早く来られた方には月面のデコボコを観察していただきました。スタートしてからも雲の切れるのを待ちながらの観察で、月、土星、火星、真珠のように青白く光るベガを始めとする一等星のアルタイル、デネブ、アンタレス、二重星のアルビレオなどを見ていただきました。

参加者から、「土星の輪が見えて感動した」とか「オレンジ色と青色のアルビレオはきれいだった」などの感想が聞かれました。小さなお子さんからは、「北極星は動きますか」という質問もありました。

後日ある参加者の方から、「孫4人が初めて参加しました。4年生の男の子は初めて学校で星のことを学び、観測会の感想と『ぼくたちの身近な星たち』というタイトルで6頁にもなる夏休みの自由研究を完成させました」とのボランティア冥利に尽きるお話を聞いて、スタッフ一同大喜びです。

なお、7月29日FMかわさきに生出演し、このイベントが「星と緑のコラボである」旨のお話をさせていただきました。

次回は来年2月頃、真冬の星空を見る会を企画しますので、どうぞよろしく願いたします。



●倒木を利用した丸椅子 井上 正樹

現在下水道工事がかかっている当森の一角に、雪の重みで倒れた樹木を利用して休憩用の丸椅子を作ろうという計画が持ち上がり、設計は間野会長、製作は井上・田中で始めました。

設置後、立ち入り禁止の仮ロープを外してもらい、坂路の途中で休憩する人の姿も見受けられるようになりました。

現在のところ丸椅子は6個ですが、今後さらに丸椅子2個とテーブルの製作を計画しています。また、11月30日開催の「花と緑の交流会」に、7区市民健康の森としてお土産を提供することになり、多摩美の森の会では、倒木の桜を森のクラフト材用に提供することを9月の交流会で申請しました。今後、森の中で出てきた除草材や間伐材を、堆肥などに有効利用することを方針にしていきたいと思います。



●これが楽しみ 作業後の懇親会 田中 駿

私は3年前の夏から森の会に参加しています。今までボランティア活動や農作業の経験がなかったため、新鮮味をもって楽しく作業を行っています。作業以外の楽しみは懇親会です。間野会長や中村さんが料理を振る舞ってくださり、作業後の疲れも吹っ飛びます。今度、学生3人で料理を作る機会があるので、お2人の料理に負けないように作りたいと思います。

懇親会では、会員の皆さんとの交流が楽しみです。料理を食べながら、真面目に社会問題について議論し、くだらないようなことまで幅広く話しています。自分はまだ大学生で社会に出たことがなく、みなさんの話して下さることが大変貴重で有難く思います。

ボランティアは無償で行うものですが、このような懇親会があることで活動へのモチベーションを高めることができ、皆さんに感謝し、今後の活動を精力的に頑張りたいと思います。

●今後の活動予定 副会長 中谷 一郎

森の豊かさを楽しむ秋から冬のイベントの内容は1頁でご紹介しています。とくに子供たちに多摩美の森への親しみと理解を深めてもらいたいと思います。森での活動と作業は継続性を大事に、皆で楽しみながら無理せずに取り組み、将来につなぎたいと思います。

- 10月 4日(土) 草刈り、森の整備
 - 10月15日(水) 16日(木) 西生田小5年生「森で環境学習」
 - 10月18日(土) 多摩美プレーパークへの協力
 - 10月19日(日) 里芋収穫、のらぼう播種
 - 11月 1日(土) 種芋の保存、植樹祭準備
 - 11月16日(日) 第14回植樹祭&収穫祭
 - 11月19日(水) 西生田小3年生、秋の森の観察会(予)
 - 12月 6日(土) アズマネザサの蔓の除去
 - 12月17日(水) カリタス女子中学生 緑地保全ボランティアへの協力
 - 12月20日(土) 多摩美プレーパークへの協力
 - 12月21日(日) のらぼう菜の追肥、清掃
 - 12月27日(土) 作業納め、注連縄、清掃
 - 1月10日(土) 初出行事、周辺清掃
 - 1月18日(日) アズマネザサの蔓の除去
- この間補助作業日は第2、第4水曜日です。
10月～5月の作業時間は10～12時です。

★会員募集中です 一度見学にお出で下さい。里山の楽しさを親子で味わってください。年会費1,000円。

●麻生区のホームページで、市民健康の森を紹介、本紙のバックナンバーも見られます。
<http://www.city.kawasaki.jp/asao/page/000028128.html>

◆皆さんの投稿、感想をお寄せ下さい。

<問合せ・連絡先>

間野 洋 044-966-7233

mano-h@jcom.home.ne.jp

木村信夫 044-954-7855

kimura-yatsu@nifty.com